

モニタリングチェックシート（令和7年度）

<評価>

施設名	練馬文化センターおよび大泉学園ホール
指定管理者名	公益財団法人 練馬区文化振興協会
評価者	文化・生涯学習課長

優：特筆すべき実績・成果が認められるもの
 良：管理運営が良好と認められるもの
 要改善：一部において改善を要する点が見受けられるもの

評価項目および評価の視点	評価	評価理由・改善すべき点等
1 組織体制 <ul style="list-style-type: none"> 「指定管理における情報の保護および管理に関する特記事項」等を踏まえ、情報セキュリティ規程や運用マニュアル等を整備するなど、必要な対策を講じているか 労働基準法、労働安全衛生法、育児・介護休業法等、労働環境に関する法令等を遵守しているか 環境法令の遵守および環境負荷の低減に取り組んでいるか 管理業務費の経理、収納した利用料金の取扱い、実費負担金等について、適正な処理および管理を行っているか 	良	<ul style="list-style-type: none"> 区と同等の個人情報の取扱いを確保するため独自に規程等を設けているほか、職員研修の実施等により適切な情報の管理に取り組んでいる。 労働関係法令に基づき、給与規程、就業規則等を定め、適正に運用している。 節電等により、環境負荷の低減に努めている。 経理等は規程に基づき適切な処理および管理を行っている。
2 施設運営体制 <ul style="list-style-type: none"> 現在のサービス水準を維持し、向上に向けた取組を進めているか 計画的に職員研修を行うなど、職員の育成に努めているか 利用者等への公平公正な対応・人権の配慮がなされているか 苦情処理の規程と体制を整備し、苦情があった際に適切かつ迅速に対応しているか 施設の利用状況は良好か 利用者アンケート等の評価は良好か 	良	<ul style="list-style-type: none"> UDトーク用端末(iPad)を受付に設置し、日本語での対応が難しい来館者や聴覚障害者とのコミュニケーションの円滑化を図った。チケット料金の支払いにキャッシュレス決済を導入した。 ユニバーサルマナー検定の受検に加え、舞台鑑賞サポート研修の受講を勧奨する等、職員の育成に努めている。 ホール稼働率は、文化センター73.1%、大泉学園ホール87.2%である。 利用者アンケートの満足度は文化センター92.2%、大泉学園ホール95.2%と良好である。
3 施設の維持管理・安全性への配慮 <ul style="list-style-type: none"> 設備の保守点検、備品の管理は適切に行われているか 緊急時のマニュアルを区と協議して整備し、緊急時には適切な措置を講じているか 管理上の不具合や問題の区への報告が適切に行われているか 損害保険等の加入状況は適切か 	良	<ul style="list-style-type: none"> 計画的に設備の保守点検を行い、備品は台帳により適切に管理している。 緊急時のマニュアルを整備したうえで、自衛消防訓練を実施するなど、危機管理の取り組みを適切に行っている。 施設に管理上の不具合が生じた際には、区に報告の上、適切に対応している。 特別区自治体総合賠償責任保険の被保険者であり、事業実施のため公立文化施設賠償責任保険および公立文化施設興行中止保険に加入している。また、施設外でのイベント実施にあたり傷害保険にも加入するなど、加入状況は適切である。
4 効率的な管理運営 <ul style="list-style-type: none"> 効率的な人員配置がされているか 業務の再委託における範囲は適切か 事業計画書で提案されたとおり事業が実施されているか 収支計画が提案どおり達成されたか その他効率的・効果的な施設運営に係る取組が行われているか 	良	<ul style="list-style-type: none"> 職員が2施設を兼務し効率的に管理を行っている。 再委託の範囲は適正である。 事業計画に基づき、事業を実施している。 利用料金収入は文化センター168,629千円、大泉学園ホール20,433千円であった。 委託事業者と連携して救命対応に迅速かつ適切に行える体制を整えた。館内での急病者の発生に迅速に対応し、練馬消防署から感謝状が贈られた。
5 施設特性に応じた管理運営 <ul style="list-style-type: none"> 区が求めた取組を適切に実施しているか 事業者の提案に基づく取組が適切に行われているか その他、選定の際に設定した取組の評価 	良	<ul style="list-style-type: none"> 区内各所での拠点コンサートの開催により身近な場所で音楽に触れる機会を提供した。また、聴覚障害者向け鑑賞サポートを用意したコンサートを実施し、障害の有無にかかわらず文化芸術に触れる機会の創出を図っている。 美術館の所蔵作品を題材としたコンサートやふるさと文化館の企画展とテーマを揃えたコンサートの実施など、施設間連携による魅力向上に取り組んでいる。
6 地域への貢献 <ul style="list-style-type: none"> 区民雇用および障害者・高齢者の雇用促進を図っているか 再委託する際に、区内事業者の活用に努めているか 物品を調達する際に、区内業者からの調達に努めているか 地域、関係機関、ボランティア等との協働または連携した取組が行われているか 	良	<ul style="list-style-type: none"> 区内雇用率は50.0%である。修繕や消耗品については、積極的に区内業者から調達している。 地元商店街と連携し、店頭でのチラシ掲示や主催公演のチケット半券を提示すると公演当日に協賛店でサービスを受けられる取組を継続して実施している。 警察や消防と協力して避難訓練コンサートを実施し、公演中に発災した際の避難の流れを確認した。
総合評価	良	<ul style="list-style-type: none"> 各項目で、区が求める基準を満たしている。拠点コンサートの実施による身近な鑑賞機会の提供に加え、鑑賞サポートの導入を進めることで、障害の有無にかかわらず文化芸術を楽しめる環境づくりに取り組んでいる。区の方針を理解するとともに、公益性・柔軟性を発揮しながら、文化芸術施設の一体的な運営を適切に行っている。